

市民協働の提案事業「NPO法人オールさこんやまの機能強化」事業者公募プレゼンテーション
採点用紙【R2.8.19市民協働推進センター事業部会】

委員名	
提案団体名	事業者

		配分	採点	合計	
地域課題・社会的課題の把握	【課題の着眼点】 地域課題や社会的課題、ニーズを捉えているか (説明) ・応募要項等で示している経緯や公募の目的から、課題認識や現状分析が的確に行われているか 等	10点	20点	0	
	【事業目的の理解】 課題に対して、取組が適切な内容か (説明) ・応募要項で定める必須の取組項目が盛り込まれているか。変更する場合、代替の取組が示されているか ・それらが課題に対して適切な取組内容となっているか 等	10点			
	協働の必要性・手法	【協働の手法】 課題解決のために協働という手法が必要とされているか (説明) ・協働体制をとることによって事業やサービスの質が高まり、行政の手が届いていない課題解決や、団体ならではの専門性、柔軟性など市民の発案や工夫が活かされた提案であると判断できるか 等	10点		20点
		【提案の公共性、公益性】 市（協働を希望する所管部署等）の行政課題を捉え、公共性が認められる提案であるか ・行政課題の解決にもつながる公共的、公益的な提案であり、公費の投入が妥当かどうか 等	10点		
実現性		【事業計画、予算】 事業計画や地域の資源（人材、資金、組織体制）に実現性があるか (説明) ・地域の資源（人材、資金、組織体制等）やスケジュールを踏まえ、現実的な計画になっているか ・提案しているゴールイメージを実現できる計画となっているか（ゴールイメージと事業計画の整合性が取れているか） ・必要な経費が計上されているか。過大、過小な支出が計上されていないか 等	10点	20点	
	【提案団体の体制】 本事業を実施する体制が整っているか (説明) ・提案団体には本事業に取り組む体制が整っているか ・提案者が主体的に事業を進める内容となっているか 等	10点			
	効果	【事業効果】 提案内容が事業の求める成果を出せるか (説明) ・地域活動の担い手や活動資金の確保が実現されているか ・提案内容を実施することにより、本事業の目標を達成できるか、求める成果を達成できるか 等	10点		20点
		【受益者、地域への効果】 事業を実施することにより、受益者や地域に良い効果があるか ・提案内容を実施することにより、受益者（住民）や地域に具体的な効果があるか ・提案内容を実施することにより、地域に良い変化が生まれるか 等	10点		
発展性		【地域の発展】 事業終了後、地域の自主的、自立的な活動として継続性が見込まれるか (説明) ・応募要項で定義している新規事業の自立化が達成されているか ・事業展望や継続しての展開が考えられているか 等	10点	20点	
		【協働の取組の発展】 他の地域へ発展していくか (説明) 本取組が他の地域の参考の事例となるか 等	10点		
	合計		100点		0

講評	
----	--